

「鈴なり」秋」香る～大迫高生ブドウ収穫」



収穫期を迎えたワイン用のブドウ。大迫高の生徒が丁寧に摘み取った17日、花巻市大迫町大迫・市葡萄が丘農業研究所

鈴なり「秋」香る

きょう 白露 大迫高生ブドウ収穫

8日は二十四節気の一つ「白露」。夜中に大気が冷え、草木に朝露が宿る頃とされる。7日の県内は、気圧の谷や湿った空気の影響で曇りや晴れとなった。花巻市大迫町大迫の市葡萄が丘農業研究所（工藤英夫所長）の畑ではワイン用のブドウの収穫が始まり、大迫高（三田正巳校長、生徒55人）の生徒らが体験した。

計2畝の畑でワイン用のブドウは18種を栽培。生徒53人と保護者が果実をはさみで丁寧に収穫した。1年の梅津葵さんは「作業は楽しい。悪い粒を取り除き、きれいな実だけを残せ」と汗を拭った。ブドウはエーデルワインに出荷。長雨の影響で、例年の8割程度の収穫を見込む。

最高気温は花巻・大迫29・1度（平年比2.8度高）、盛岡30.0度（同3.9度高）、大船渡29.0度（同3.5度高）、宮古25.8度（同1.0度高）など。

盛岡地方気象台によると8日の県内は気圧の谷や湿った空気の影響で曇り、午

前は県南を中心に雨の所がある見込み。